

## モロッコ政治月報(5月)

2014年6月24日  
在モロッコ大使館

4月のモロッコの動きを、当地報道を中心にとりまとめたところ、以下のとおりです。要人往来については末尾に一覧表を付しました。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

### 【主な出来事】

◎ 第32回アラブ・マグレブ連合(AMU)外相会合の開催

#### <内政・政局>

##### 1 次回参議院選挙の日程

27日、ベンキラン首相は、議会での質問に答え、次回参議院選挙は2015年9月に行われる予定であると明かした。

(注:その後与党内から同日程での選挙実施の可能性について準備不足の懸念が示されるなど、同日程が政府・与党内でどこまで調整されたものかは不明。)

##### 2 各地の大学における学生間の衝突

(1)4月24日、フェズ大学にて、イスラム主義学生グループと左派学生グループの間で、刀及びナイフを用いた暴力的衝突が発生した(当館注:このうちイスラム主義側は公正と発展党(PJD)、左派は極左政党アンナフジ・アッディモクラティ(Annahj Addimocrati)にそれぞれ支援されている模様。)。この衝突により、イスラム主義側学生1名が死亡。

(2)ハッサド内務大臣は議会での質問に答え、昨年の秋学期以降、主にフェズやアガディール、マラケシュ、ケニトラ、マルティルといった都市で少なくとも30以上の事案が発生していると述べた。また、同大臣によると、秋学期以降、120名以上の学生が取調べを受けている。

##### 3 モロッコにおける報道の自由

(1)NGO フリーダム・ハウスが2日発表した報告書によれば、報道の自由に関し、モロッコは197カ国中147位にランクされ(昨年は149位)、依然として報道の自由を遵守していない国として評価されていることが明らかになった。

(2) 近隣諸国との比較では、チュニジアやアルジェリア、リビアといった国々よりも低い評価となった。

(3) 同報告書に対しハルフィ政府報道官は、「このランク付けはバランスを欠くものであり、モロッコにおける報道の自由の現状を反映していない」と述べた。

#### 4 5月1日(メーデー)におけるデモ

(1) 1日、ラバトやカサブランカ等各都市で、メーデーに合わせてデモが行われた(ラバト、カサブランカそれぞれ約1万人が参加)。

(2) デモ参加者は賃金引き上げを主張。

#### 5 宗教指導者研修施設の着工

(1) 12日、モハメッド6世国王は宗教指導者研修施設の着工式を主催。

(2) 同施設の建設には1億4000万ディルハム(約15億円)が投資され、完成後にはモロッコのみならず、先のモハメッド6世国王のアフリカ諸国訪問時等に合意されたとおり、他のアラブ・アフリカ諸国から研修生を受け入れる予定。

#### <外交・国際関係>

#### 6 第32回アラブ・マグレブ連合(AMU)外相会合の開催

(1) 9日、ラバトにて第32回AMU外相会合が開催された。

(2) 今次会合では、1994年以降開催されていないAMU首脳会合を本年10月にチュニジアで開催する方向で調整することが確認された。

#### 7 モハメッド6世国王の仏私的滞在

(1) 5月初旬より数週間にわたり、モハメッド6世国王は仏に私的に滞在。

(2) 滞在中、オランド大統領やヴァルス首相をはじめ、要人との会談は行われず。

#### 8 モロッコ・中国間の観光交流

15日、ラバトにて、モロッコ国立観光事務所(ONMT)と中国観光事務所はパートナー協定に署名した。右協定は両国間の観光・文化に関する協力強化を目的としたもの。

#### 9 ナヴィ・ピレイ国連人権高等弁務官のモロッコ訪問

(1) 26-29日、ナヴィ・ピレイ国連人権高等弁務官がモロッコを訪問。

(2) 今次訪問はモロッコ政府の招待に応じたもの。

(3) 訪問中、ピレイ高等弁務官は、モハメッド6世国王に謁見した他、首相や外相を

含む複数閣僚, 両院議長, 国家人権評議会 (CNDH) 代表, 経済・社会・環境評議会 (CESE) 代表, 市民団体代表等と会談。

#### 10 ナイジェリアとの宗教分野における協力

26日, 永代財産・イスラム宗教省はコミュニケのなかで, モハメッド6世国王がナイジェリアからの宗教指導者(イマム)研修受け入れの要請に対して合意をした旨発表した。

#### <モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
5月20日	マリ	メズアール外務・協力大臣	モハメッド6世国王の代理としてケイタ大統領にメッセージを伝達
5月21日	ロシア	ハリフィ報道官	ニキフォロフ報道官と会談
5月22日	ポルトガル	メズアール外務・協力大臣	第11回5+5閣僚級会合出席

#### <外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
5月2日	ニュージーランド	ティム・グローサー貿易大臣兼外務大臣補佐	ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣と会談
5月7日	マリ	ブーブー・シセ鉱山大臣	石油・ガス・モロッコサミット出席 アマラ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣と会談
5月7日	ギニア	イドリッサ・ティアム・エネルギー・水力大臣	石油・ガス・モロッコサミット出席 アマラ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣と会談

5月8日	チュニジア	ハムディ外務大臣	ベンキラン首相等と 会談
5月9日	IMF	クリスティーヌ・ラガルド専 務理事	モハメッド6世国王に 謁見(ブーサイド経 済・財政大臣同席) 等
5月15日	国連	ミトリ国連リビア支援団特 別代表	メズアール外務・協 力大臣と面談
5月20日	サウジアラビア	アブドゥラー・ビン・アブド ルアジーズ・アール・サウ ード国王	私的訪問 モハメッド6世国王と 会談
5月26-30日	国連	ナヴィ・ピレイ人権高等弁 務官	モロッコ政府による 招待

(了)